

相談支援つうしん

<第102号>2024年9月6日
県立湘南支援学校 支援連携グループ
相談支援班 ~教師編~

今回の「相談支援つうしん」の前半は、人事交流研修で説明のあった「認知発達段階」について紹介したいと思います。

<参考>ピアジェの認知発達段階

年齢	段階	特徴
誕生～2歳	感覚運動期	最初の目標は「対象の永続性」を確立すること、乳児は感覚を通して体を使って物を操作する能力によって世界を知る。
2歳～7歳	前操作期	象徴（言葉も含む）を用いて物を表象する能力を得る、象徴を多く用いる、遊びに向かう欲求が増加する。
7歳～11歳	具体的操作期	象徴（例：言語、もの）と概念を操作する能力を得る、論理的で具体的な思考のあり方に固執している。
11歳～成人	形式的操作期	抽象的な推論・概念化の能力の兆候を見せる、複雑な情緒への気づきと理解が始まる。

※「対象の永続性」・・・何かに隠れても事物はその陰に存在し続ける。

大学生の時にピアジェの認知発達段階の勉強はしましたが、実際に特別支援学校に勤務してから改めて説明を受けると「なるほど」という部分がありました。「形式的操作期」は、「〇〇するためには・・・することが必要になる」というように最終的な目標に向けて、計画的・段階的に行動するようになる発達段階で、中学生の進路選択をイメージしてみてください。知的障がいのある高校生の場合は、この「形式的操作期」の前段階に該当するケースが多いようです。

7月にクラスの生徒と進路について話す機会がありましたが、「将来一人暮らしをしたい」という目標に向けてどのような進路があるか説明した際に本人はなかなかイメージがつかないようでした。図を書いて説明したところ少しはイメージがついていましたが、それでも理解するのが難しい部分があったと思います。今、研修の内容を思い出すとこの生徒は「形式的操作期」の前段階に該当しているのだと思います。そのため、説明する際には伝えた内容を聞き直したり、視覚的な支援をしたりすることが必要だったのだと思います。

当たり前のことかもしれませんが、認知発達段階についての知識があることで子どもたちが今どのようなことができて、次の段階はどのような段階なのかが分かると思います。このことが子どもたちへの適切な支援につながっていくのかなと考えるようになりました。皆さんも一度、ピアジェの認知発達段階について調べてみてはいかがでしょうか。

後半は、夏休みに行われていた「夏の教材展」みなさんは見に行かれましたか？課題別学習で使われる教材のほかにも作業学習や日常生活など様々な場面で使われている教材が展示されていました。今回は、その中のいくつかを紹介します。

★課題別学習



この教材は、目と手の協応動作と手の操作性の向上をねらって手作りで作成したそうです。持ち手が児童の手のひらより少し小さく握りやすくなっていました。カラフルなのも魅力的ですね。

NO IMAGE

この教材は、誰もが知っているであろうキャラクターのプットイン課題です。児童の好きなキャラクターを使うのも課題への意識を向けるのに有効ですね。

★作業

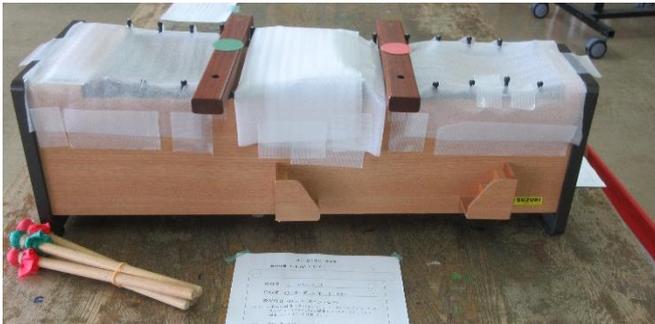


これは、高等部の作業グループ農業班で使われている教材です。教員や友だちと一緒に協力して土を細かくしたり、雑草の種を取ったりするために使う“ふるい”です。力が弱い人やつかむ動作が難しい人も友だちと協力して作業に参加することができる仕組みになっています。他にも、ふるいを使った際に砂が長靴に入らないようにするカバーや種を蒔く位置の目印になるものなど工夫されていました。気になる人は、農業班に声をかけてみてください。

★教科等



これ、何にみえますか？
正解は、キャタピラーです！もしかしたらやったことない人もいるかもしれません。ダンボールで作ったわっかの中に入り、四肢這いで前に進みます。粗大な動きを引き出します。内側に手形がつけられているので手をつく位置が分かりやすくなっていました。



こちらは木琴です!!!
鍵盤を外すだけだとどうも狙えなかったり、外している穴が気になってしまったりする子が多かったので、いっそ塞いでしまえ!と鍵盤がないところの穴を発泡スチロールのシートで塞いで使用しました。子どもの手に合わせてバチも作ってみました♪

この他にもすてきな教材がたくさんありました。



相談カード（教員用） 記入日 令和 年 月 日

対象児童生徒 小・中・高 年 氏名（イニシャル）

1. どのようなご相談ですか？（○をつけてください）

- ①行動面について ②学習面について ③コミュニケーションについて ④運動面について
- ⑤家庭に関すること ⑥ その他（ ）

2. 困っていることは何ですか？

3. 今後どのような方法をご希望ですか？ ①情報提供 ②アドバイス ③ケース会 ④他校専門職との連携

⑤道具の工夫環境調整 ⑥その他（ ） 担任→相談支援係へ提出をお願いします。